

資産運用への道を開く 研究所財政管理委員会規約等の改正

第2回研究所理事会(11/30)において、財政管理委員会が提案した「資産運用に関連した規約・規程を R6 年度社員総会に上程する」ことが承認されました。概要は以下のとおりです。

提案理由

全社員による修繕積立金(R4開始)により、ソフィアの第1期大規模修繕は順調に進んでいるが、将来的には資金は減少予想である。

研究所の未来のために、積極的に資産を守る「資産運用」を進めるべく、そのための規約・規程の整備を提案する。

理由1 定期預金の利息減少：H20には35万円/年だった利息が低金利により現在は1万円/年に減少。

理由2 社員数の減少、30年後には7割 300人以上の予想(120万円減)：児童生徒数の減少による社員数減少と学校統廃合。

理由3 資材高騰による修繕費の増加：R4・5だけで225万円増加。

対応策

研究所基金(定期預金)の1/2限度を原資として、30年国債など信用度の高い債券を購入し、定期的に利息収入を得て、資産の減少を抑える。ただし、専門家の助言、会計士によるチェック体制を整備する。

【今後の進め方】

- R6.2.2 第5回財政管理委員会：社員総会への提案資料検討
- R6.2.22 第3回研究所理事会：社員総会提案資料の最終承認
- R6.5.23 R6年度社員総会：承認を得て決定、関連規程等施行。